

一宮（いちのみや）神社 山本通1丁目



祭神は田心姫命（たごりひめのみこと）で、生田裔神（えいしん）八社のうちの一宮といわれている。旧北野村の氏神。1690（元禄3）年の調書に「市の宮」とあり、この神社を中心に定期的に市が立っていたのではないかとされているが定かではない。現在の社殿は、1945（昭和20）年6月5日の空襲で焼失後、1955（昭和30）年に再建され、また1995（平成7）年の阪神・淡路大震災で全壊した社務所〔1950（昭和25）年再建〕は翌年8月に復興した。

末社に「伊久波神社」「熊高稲荷神社」が祀られて、2021（令和3）年4月に改修工事が竣工した。

場所：中央区山本通 1-3-5



● 「山本通（やまもとどおり）」の由来

山手の街づくりの完成から、山の方という意味で、「山本」と名付けられたという。